

令和3年度 さいたま市立常盤中学校 自己評価書

校長 \_\_\_\_\_ 渡邊 祐子 \_\_\_\_\_



### 1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

本校の学校教育目標は「心豊かな中学生、自ら学ぶ中学生、活力あふれる中学生」である。この目標の具現化に向けて、重点・努力点として以下の点を推進している。

- (1) 「よい授業」の実践し、社会で生きて働く学力を育成する。
- (2) 生徒主体の活動の充実による自己肯定感の向上を目指す
- (3) 信頼関係に基づく組織的な生徒指導、教育相談を推進する。
- (4) 安全・安心で美しい教育環境を整備する。
- (5) 地域とともにある、信頼される学校づくりを行う。
- (6) 服務規律を徹底し、迅速・誠実に対応する。

### 2 評価結果について

- (1) 「授業は、わかりやすいですか」という項目に対し、93.2%の生徒が肯定的な回答をしている。また「学校は、授業を工夫し、わかりやすく教える努力をしていると思いますか。」という項目に対し、85.6%の保護者が肯定的な回答をしている。
- (2) 「先生はあなたのよさを伸ばしていますか。」という項目に対し、92.5%の生徒が肯定的な回答をしている。また、「学校はお子様を理解し、よさを伸ばしていますか。」という項目に対し、88.3%の保護者が肯定的な回答をしている。
- (3) 「いじめ等を見逃すことなく、思いやりをもった生活ができていますか。」という項目に対し、97.0%の生徒が肯定的な回答をしている。また、「学校は、いじめを見逃すことなく、指導していると思いますか。」という項目に対し、89.6%の保護者が肯定的な回答をしている。  
「悩みがある時、相談できる先生がいますか。」という項目に対し、83.8%の生徒が肯定的な回答をしている。また、「学校は、お子様に誠意をもって対応していますか。」という項目に対し、94.3%の保護者が肯定的な回答をしている。
- (4) 毎年来校するPTA本部役員より、安全・安心な教育環境を整備しているとの声をいただいている。
- (5) 「学校は、たよりやHP等で、情報をわかりやすく発信していますか」という項目に対し、90.6%の保護者が肯定的な回答をしている。また、「たよりや通信などで、適宜適切に情報を発信していますか」という項目に対し、75.5%以上の教職員が肯定的な回答をしている。
- (6) 教職員は常に服務規律を意識し、迅速・誠実に対応している。

### 3 次年度に向けた具体的な改善策について

- (1) 令和2年度から令和4年度の学校課題研究「主体的、対話的で深い学び」において、各教科の特性に応じてICT機器を活用した授業の実践を積み重ね、生徒の学習意欲や理解力を高め、「主体的・対話的で深い学び」に迫る研究をより深める。
- (2) いじめや家庭での悩みなどを抱えた生徒への支援について、よりきめ細やかな指導をするために、教育相談体制の改善を図る。また、生徒の心に寄り添った指導を行うことで、自己肯定感の向上を目指す。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。